

児童発達支援 支援プログラム

事業所名	社会福祉法人三恵会 西海市療育支援相談センター陽だまり					
法人理念	社会福祉法人三恵会は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができ、心身ともに健やかに育成されるよう支援することを目的としています。					
支援方針	活動を通して楽しく取り組むなかで、目標に沿った支援を行い、伸びる力を後押しします。 お子さんや保護者様の想いに寄り添いながら、一緒に支援の手立てを考えたり、アドバイスをしたりしていきます。 関係機関との連携を密にとり、共通理解をもって、成長をともに支えていきます。 ▼当事業所は親子での通所を基本とし、お子さんとご家族への支援に努めています。 ▼少人数グループで、お子さんの発達段階に合わせたプログラムを実施し、お子さんの特性やご様子に合わせた関わりがご家庭でできるように、療育支援を行います。					
営業時間	9:00 ～ 18:00 (土日祝・年末年始を除く)	送迎実施の有無	▼当事業所は親子療育を実施しているため、送迎は基本おこなっておりません。 ▼「自宅に車がない」「保護者の方が運転ができない」等の事情があるご家庭に限り、送迎をおこなっています。			
支 援 内 容						
本人支援	プログラム	5領域とのつながり				
		健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語・コミュニケーション	人間関係・社会性
	来所・健康チェック	健康状態の確認 持ち物の整頓や管理の意識づけ			スタッフや仲間との会話の機会	あいさつの習慣づけ
	おあつまり			スケジュールへの見通しをもてるようにする	話を聞いて理解する 伝えたいことを発信できる	座って話を聞く 仲間への関心をもつ
	プレイルームでの活動	発達に必要な運動の機会	感覚統合を促す ボディーイメージや運動能力の向上	好きな遊びを見つける 危険予知の意識ができる	やりとりの機会 「かわって」「かして」など気持ちを伝える	遊びの共有 順番待ちなど、ルールや約束を守る
	親子あそび	家庭での親子の関わり方のヒントにする	遊びに応じた身体の使い方ができる	内容を理解して取り組む	親子でのコミュニケーションの機会	愛着形成や社会性の発達を促す
	ゲーム遊び	園での集団遊び等が円滑にできるようにする	遊びに応じた身体の使い方ができる	内容を理解して取り組む 感情コントロールへのアプローチ	他者とのコミュニケーションの機会	ルールや約束を意識できる、また守ることができる。
	机上活動 おえかき、おりがみ、制作等	道具の管理や後片付けの意識	手指操作を高める 道具のより良い使い方を身につける	内容を理解して取り組む イメージする力を高める	要求や援助要請を発信できる	他児の遊びや作品などの、違いやおもしろさに触れる 遊びの共有
	トイレ等	トイレトレーニングの実施 自己管理ができる	必要に応じた排泄の態勢確保・補助		自分の体調の変化等を伝える	
家族支援 移行支援	活動内容の共有やふりかえりを毎回行います。 ライフステージの移行を踏まえながら、日々の困りごとへの相談・助言を行います。		職員の 質の向上	所内の研修の実施および所外の研修に積極的に参加し、知識・技術の向上を図ります。 利用者さん個々の支援の検討を行い、支援の質を高めます。		
地域支援 連携支援	行政、園、医療機関等と情報共有をしながら一体的な支援ができるようにします。		主な行事	8月・12月／おたのしみ会 3月／修了式 保護者勉強会・交流会(年1～2回) など		

